



総合計画リーディング・プロジェクト(「健康都市」づくりの推進)

(単位: 千円)

事業名	健康経営推進費			区分	新規
事業費	担当部局・所属	環境経済部		商工観光労政課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,300	650				650

<事業の概要>

事業者が従業員の健康管理を経営的視点で捉え、従業員の健康保持・増進に取り組むことが組織の活性化や生産性の向上につながり、ひいては収益性を高めるものであるという考え方のもと、市内事業所に対して最新の健康経営の情報や健康経営の取組事例などを発信し、健康経営の導入の推進を図ります。

【主な内容】

- ・健康経営シンポジウムの開催(1回)
- ・健康経営セミナーの開催(2回程度)

<事業の目的・効果>

市内の事業所が健康経営に取り組むことで、事業者側のメリットとして、労働生産性を高め、高い利益率を享受し、労働災害や企業リスクを低減することができ、安定した経営が可能となります。

また、従業員側のメリットとして、健康の増進、生活の質の向上や働きがいを得ることが期待できます。健康経営の取組を進めることで、従業員が安心して事業所で働き、健幸になれるまちを目指します。

	経費の内訳	
	シンポジウムおよびセミナー開催費	1,300



総合計画リーディング・プロジェクト(「健幸都市」づくりの推進)

(単位:千円)

事業名	健幸づくり推進費		区分	拡大
事業費	担当部局・所属		健康福祉部・関係各部	
			健康福祉政策課・関係各課	
	財源内訳			
	国庫支出金	県支出金	市債	その他
	一般財源			
9,813	4,638	178		4,997

<事業の概要>

市民が生きがいをもち、住む人も訪れる人も健やかで幸せになれる「健幸都市くさつ」の実現を目指す「草津市健幸都市基本計画」に基づき、行政や地域、大学、企業・団体等、あらゆる主体が連携し、市の総合政策として健幸都市づくりに向けた取組を進めます。

【主な内容】

- ・草津川跡地公園における健幸フェアの開催
(くさつ健幸ウオークや「食」に関するイベントと同時開催)
- ・食品ロス削減に健康づくりの取組を加えた「3010運動+(プラス)」の推進
- ・健康のまち草津モデル事業費補助金
- ・食と運動のヘルスチェックデーの開催
- ・食育啓発・実践のため飲食店等との連携を推進



<事業の目的・効果>

急速な高齢化が進む中で、認知症や寝たきりなど介護を必要とする人が増え、生活習慣病の増加に伴い医療費も増加するなど、介護予防や疾病予防の強化が必要となっています。従来からの健康福祉施策だけでなく、ハード・ソフト両面からの施策展開や社会的なつながりの強化、産学公民の連携などにより、市全体で健幸都市づくりを進め、高齢化や人口減少が進んでも持続可能な社会の実現を目指します。



<健幸都市のイメージ>

経費の内訳

健幸フェア開催費	980
3010運動+推進費	899
健康のまち草津モデル事業費補助金	7,000
食と運動のヘルスチェックデー開催費	758
健幸くさつチャレンジ食育推進費	176

総合計画リーディング・プロジェクト(「健幸都市」づくりの推進)

(単位:千円)

事業名	健幸づくり拠点整備事業費			区分	新規
事業費	担当部局・所属	健康福祉部・建設部		健康福祉政策課・公園緑地課・草津川跡地整備課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
14,268	12,788				1,480

＜事業の概要＞

「まちの健幸づくり」を進めるため、従来からの健康施策の枠組を超えて、ハード・ソフトの両面から健康づくりを進め、「出かけたくなるまちづくり」や「交流機会や健康拠点の充実」の取組を推進します。

【主な内容】

＜健幸づくり支援事業＞

BIWA-TEKUアプリと、体組成計や血圧計などの測定機器を活用して、健康データや活動データを集約し、参加される市民が、そのデータをスマートフォンで参照できるよう健康拠点づくりを進め、地域の健幸づくりの支援を行います。

＜市内公園におけるウォーキングコース整備費＞

ロクハ公園や草津川跡地公園(区間5)において、園路の舗装や案内板の設置を行い、健康づくりを促すための歩きたくなる仕掛けづくりを進めます。

＜事業の目的・効果＞

バイタルデータ・活動データが計測できる機器を健康拠点に配置することにより、「交流機会や健康拠点の充実」を図るとともに、健康づくりにつながる徒歩などによる移動を促進するため、公共空間の整備を行い、「出かけたくなるまちづくり」を進め、市民の運動習慣・健康志向の醸成を図ります。

<p>健康拠点施設</p>	経費の内訳	
	健幸づくり支援事業費	11,308
ロクハ公園		
園路舗装整備工事費、案内板設置費	1,960	
草津川跡地公園(区間5)		
案内板設置費	1,000	

総合計画リーディング・プロジェクト(「健幸都市」づくりの推進)

(単位:千円)

事業名	健幸ポイント制度推進費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属	健康福祉部		健康増進課・保険年金課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,093		3,733			360

<事業の概要>

健康づくりの意識の高揚を図ることを目的に、市民が健康づくりの取組をされた場合にポイントを付与し、一定のポイントがたまったら、賞品の応募ができます。

若い世代を含め、さらに多くの人に利用いただき、健康づくりへの関心の向上やきっかけづくりを進めるため、これまでの紙ベースでの運用に加えて、県内10市町や協会けんぽ滋賀支部と共同開発したスマートフォンの健康増進アプリ(BIWA-TEKU)活用により、「ひとの健幸づくり」を推進します。

【対象】

19歳以上の草津市民

【ポイント対象(例)】

個人で健康目標を立て実践した場合(1pt/日)*7日間連続取組につき追加ptあり

スポーツイベントへの参加、健康講座の受講、特定保健指導(20~30pt/回)

特定健診等(特定健診、プレ特定健診、人間ドック、職場健診)の受診(100pt)

がん検診(胃、肺、大腸、乳、子宮)の受診(100pt/回、上限200pt)

バーチャルラリー1コース(5~300pt)、スタンプラリー1コース(100pt)

【ポイント交換】

ポイント数に応じて、賞品の応募に複数回申し込めるように変更(1口 1,000pt)

<事業の目的・効果>

健康づくりへの関心を抱くきっかけづくり、生活習慣病の予防や改善のための健康行動や、やる気の維持向上などを図り、健康づくりに取り組む市民が増えることによって、健康寿命の延伸や健康格差の縮小を目指します。



経費の内訳

賞品にかかる報償費	216
ポスター・ポイントカード等の印刷費	121
健康推進アプリ使用料	3,733
その他事務費	23

「安心」が得られるまちへ

(単位: 千円)

事業名	がん検診推進事業費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属		健康福祉部	健康増進課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
156,241	4,044	11,320		諸 11,532	129,345

<事業の概要>

協会けんぽ滋賀支部と国民健康保険が合同で特定健診を行う会場において、プレ特定健診・乳がん検診・子宮頸がん検診・肺がん結核検診を同時実施することにより、受診機会を拡大します。また、50歳以上の人を対象に、従来の胃X線検診に加えて新たに胃内視鏡検診を選択できるようにすることで受診機会を拡大します。

【事業スケジュール】

6月: 実施医療機関説明、胃がん検診(内視鏡検診)開始
8月: 合同検診開始

<事業の目的・効果>

がん検診の受診機会の増加や検診手法を拡充することにより、受診率を向上させ、がんを早期に発見し、がん死亡の減少を目的とします。

経費の内訳

検診委託費	131,605
受診勧奨等にかかる郵便代	13,058
検診票等印刷費	3,569
臨時職員雇用費	6,393
その他事務費	1,616



「安心」が得られるまちへ

(単位: 千円)

事業名	国民健康保険特定健康診査・ 特定保健指導受診率向上対策費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 健康福祉部			保険年金課・健康増進課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
25,771		17,299			8,472

<事業の概要>

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、40歳から74歳の国民健康保険の被保険者に対し、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導を実施し、生活習慣病の予防や早期発見、改善を図っています。

[特定健康診査]

・協会けんぽ連携事業

協会けんぽ滋賀支部との事業連携協定に基づき、特定健康診査を共同実施します。
平成30年度より実施回数を年4回から年8回に拡大し、受診率の向上を目指します。

・未受診者対策事業

未受診の人に対し、電話での受診勧奨を実施するとともに、過去の特定健診のデータを分析し、対象者の特性に合わせて未受診勧奨はがきを通知し、受診率の向上を目指します。

[特定保健指導]

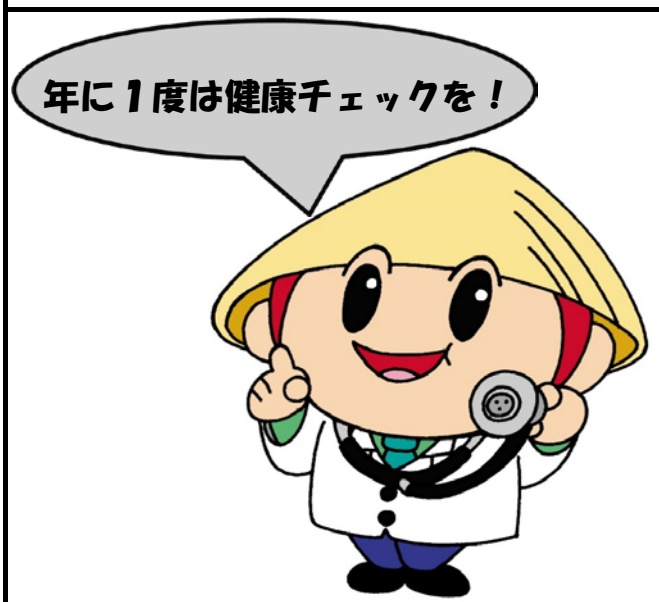
集団で行う特定健診会場にて初回の保健指導を行い、確実に特定保健指導につなげるとともに、委託先を拡充することで、保健指導を受ける機会を増やし、実施率の向上につなげます。

<事業の目的・効果>

・協会けんぽとの連携事業を促進することにより、被保険者の受診機会を増やし、受診しやすい環境を整えます。

・受診勧奨を実施し、特定健診の周知、啓発を行うことで、受診率の向上を目指します。

・メタボリックシンドロームの予防および改善の必要性が認められた人に対し、特定保健指導を行うことで、生活習慣病の発症予防・重症化予防を目指します。



経費の内訳

特定健康診査集団健診委託費	3,347
未受診者対策事業費	10,650
特定保健指導費	11,774